

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 15 日作成)

小委員会名	明視環境設計小委員会		主 査 名：原 直也 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：加藤信介 主 査 名：井上容子
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・サイン・防災・防犯・景観照明計画の実設計手法の全体構成とその中における視環境計画ならびに明視環境計画の位置づけを明確にする。 ・各環境計画内での明視環境計画に関する取り組むべき課題を明らかにする ・早急に取り組むべき課題について、明視環境計画手法の提案を行い、到達成果目標の設定を行う 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	原直也(関西大学), 奥田紫乃(広島国際大学), 秋月有紀(京都大学非常勤研究員), 飯村治子(東京大学大学院工学系研究科), 井上容子(奈良女子大学), 岩田三千子(摂南大学), 樋村恭一(東京大学), 村上泰浩(崇城大学工学部), 山田常主(消防研究所), 山家哲雄(日本大学)		
設置 WG (WG 名:目的)	なし		
2005 年度予算	48,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(メール会議を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 明視環境計画の位置づけを明確にするために活動を進めることになった。 2 . 各環境計画内での明視環境計画に関する取り組むべき課題を明らかにし、WG 設立を計画した。今後も課題の抽出にと具体的対策の考案に取り組む、 3 . WG 設立において明視環境計画手法の提案よ、到達成果目標の設定を行った。
委員会活動の問題点・課題	予算上全委員が何度も一堂に集まるのが困難であるため、メールでの連絡と、活動の推進が望まれるが、多分野の委員が集まっているためか上手く行っていない。委員会では地道に直接あつて議論を進め、WG にて具体的活動を推進すること委員会活動全体を効率よく運営することが課題となる。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。